

東日本高速道路株式会社が発行する 「ソーシャルボンド」への投資について

大東京信用組合（理事長 内田通郎、以下「当組合」）は、このたび、東日本高速道路株式会社（以下「本法人」）が発行する第 73 回社債（ソーシャルボンド）、（以下「本債券」）への投資をいたしましたので、お知らせいたします（本債券発行日 2020 年 7 月 17 日）。

「ソーシャルボンド」とは、調達資金の使途が社会的課題の解決に資するものであることに限定された債券です。本債券による調達資金は、本法人が策定したソーシャル・ファイナンス・フレームワーク（国際資本市場協会（I CMA : International Capital Market Association）が定めるソーシャルボンド原則の 4 つの核となる要素（「【1】 調達資金の使途」、「【2】 プロジェクトの評価と選定のプロセス」、「【3】 調達資金の管理」、「【4】 レポーティング」）にかかる高速道路の新設・改築、高速道路の修繕・災害復旧、高速道路の特定更新へ充当いたします。

また、本債券は、発行条件の決定に伴い、株式会社格付投資情報センター（R & I）より、ソーシャル・ファイナンスに関する第三者評価を高速道路会社として初めて取得しています。

当組合は、今後も E S G 投資を通じて、S D G s の達成に貢献する事業を資金面からサポートし、持続可能な社会の形成に寄与すべく社会的使命・役割を果たしてまいります。

以 上